

今井彦二郎 いまの ひと 國文學者。文久四年二月九日陸奥國生乳（二八六四一）。

號斐己、斗南、鱸山。明治十年頃上京し、芳野金陵、鴛田笠邸に漢學を學び、次に帝國大學文科大學古典科卒。秋田・千葉の師範學校、宮城の中學校教員を経て第一高等學校教授、のち大正大學教授。社會學者今井時郎の父。

著書 『神樂、權馬樂通解』（今井鱸山名、明治二十二年九月、二十五日）
今文學會。再刊・大正二年五月十五日（明治書院）、文集『春光』（合著・好文會編、明治四十四年五月二十日（明治書院）、文集『彩雲』（今井斐己名、合著・好文會同人、大正五年一月二十日（精華堂書店）、『小澗集』（同名、昭和八年十一月二十五日初刊、昭文堂）等。

